

[2021年12月16日]

## 『教科開発学論集』投稿要領

- 1 愛知教育大学大学院教育学研究科及び大学院教育実践研究科、静岡大学大学院教育学研究科の教員、共同教科開発学専攻（以下「本共同専攻」という。）の学生、本共同専攻に籍を置いたことがある者、及び本共同専攻で学位を取得した者は、この投稿要領に従い『教科開発学論集』（以下「本誌」という。）に原著論文、研究ノート・資料を投稿できる。  
この場合、愛知教育大学大学院教育学研究科及び大学院教育実践研究科、静岡大学大学院教育学研究科の教員及び本共同専攻の学生以外の者が共著者であっても、差し支えないものとする。なお、休学中の学生であっても投稿できる。
- 2 投稿原稿は「教科開発学」の創造・発展に資する内容であるものとし、原著論文、研究ノート・資料とし、以下のとおりに規定する。
  - (1) 原著論文  
研究の結果を十分考察した内容でオリジナリティのあるもの。掲載は、3名以上のレフリの審査に基づき、紀要編集委員会が決定する。
  - (2) 研究ノート・資料  
特定主題に関し、①研究動向・事実状況等を展望し研究上の提言を行ったもの、②史・資料の紹介に重点を置きつつ考察を加えたもの、③その他の萌芽的研究を記したもの。掲載は、紀要編集委員会が決定する。
- 3 投稿原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表等は、この限りではない。
- 4 第一著者としての投稿点数は、1名1論文とする。
- 5 投稿原稿は、和文又は英文とする。
- 6 本誌に掲載される記事の分量は、本文のほか、タイトル、注記及び図表等の該当スペースも含め、以下のとおりとする。
  - (1) 原著論文 和文、英文とも10ページ以内
  - (2) 研究ノート・資料 和文、英文とも6ページ以内ただし、編集委員会が特に指定したものについては、この限りではない。
- 7 和文及び英文の原稿は、執筆要項の作成例に従ってワープロソフト等によって作成することを原則とする。  
なお、カラー図表は用いないことが望ましい。
- 8 投稿原稿は、デジタルデータファイルとして提出する。提出先は、紀要編集委員会が示した宛先とする。
- 9 投稿原稿には、①英文タイトル、②500語以内の英文摘要及びその邦訳文、③5語以内のキー・ワード（英語及びその邦訳）を、それぞれ添付する。
- 10 投稿原稿及び前項②の摘要等には、氏名、所属は書き入れない。別紙「投稿票」に必要事項を付記し、原稿とともに提出する。
- 11 注及び引用文献は、原則として、論文末に一括して掲げる形式をとるものとする。引用の表記は、①論文の場合は、著者、論文名、雑誌名、巻号、年、ページ、②単行本の場合は、著者、書名、発行所、年、ページの順で表記することが望ましい。
- 12 投稿された研究成果については、原則として両大学学術情報リポジトリに登録し、インターネット上で無償公開することを許諾したものとする。
- 13 査読の結果、要修正となった場合、著者は修正した論文とともに、査読者のコメントに対する回答書を提出する。回答書は、査読者からのコメントに対して、個々のコメントとそれに対する回答とが明確に対をなすように、一問一答式の形式とする。修正箇所については、論文のどこをどのように修正したのかページや段落などを示し、明瞭に回答する。